

# はじめに

皆様のおかげ様をもちまして「こんなにも面白い医学の世界 からだのトリビア 教えます Part3」として3冊目の単行本を出版する運びとなりました。羊土社の連載の編集担当 遠藤さん、イラスト担当 鳥山さんをはじめ、関係各位に心より御礼申し上げます。月刊誌「レジデントノート」において1番最初にコラムを書かせていただいたのは2014年10月ですので、ちょうど10年が経過しました。毎月お読みいただいている読者の方々におかれましては、本当にありがとうございます。

私たちが患者さんに行う医療行為のほとんどは、ガイドラインという過去の研究を詳細に総括した基準で定められており、それに逸脱することは通常はしてはいけません。日常診療で行うことは、ほぼ先人たちの模倣であり、伝統の継承にほかなりません。膨大な知識や技術を習得することは容易ではなく、若手医師の皆さんは「学ぶ」ことに専念しないとはいけません。そのなかでも、先人たちは臨床の疑問点や問題点を解決するためにチャレンジをしてきました。その積み重ねで現在の医学が存在しています。

探求し、新しいものを生み出すためには時間も努力も必要ですが、若手医師の皆さんには、決してリサーチマインドを忘れてほしくありません。何でも興味をもって、深く掘り下げてみてください。このコラムは私の興味でもあり、独断で書かせてもらっていますが、どうか皆さんもトリビアがあれば記事を書いたり、人に話したりしてみてください。研修生活は忙しい毎日であると思いますが、医学は深く、たいへんおもしろい学問です。皆さんにどこかでお会いした時、発見したことをぜひ共有いただき、私を「へえーそうなんだ」と感心させてください。本書が、つかの間の息抜きになりますように。

2025年2月

岡山大学学術研究院医菌薬学域  
救命救急・災害医学講座 主任教授  
中尾篤典